

# 青山幸生の「日々感謝」

発行責任者:滑川市上梅沢396-1  
滑川市議会議員 会派・志真会 TEL475-9376

## ご挨拶

向暑の候。皆様におかれましては、長引く新型コロナウイルス感染症との新たな生活習慣を感じながらお過ごしのことかと思います。この混沌とした時世の中で一つでも幸せな瞬間が増える事を切に祈ります。

令和4年3月定例会が3月23日に閉会致しました。令和4年度一般会計予算124億8,142万円を賛成全員で可決致しました。また中野島坪川線踏切改良事業に2億5,500万円、新型コロナウイルスワクチン3回目接種の実施に1億4,099万円、フットボールセンター富山のサッカーコートの人工芝張り替えに1億2,000万円など所要の予算を審議致しました。今後も皆様の税金が適切に執行されるよう努めます。引き続きご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ致します。



## 滑川市の財政は破綻するのか？

水野新市長は前回市長選立候補時に「滑川市の財政破綻」を提言し、出馬しています。当時の私の認識は、滑川市の財政は破綻どころか健全だと考えていました。そこで今回当選したばかりの水野市長に財政の認識について議論させていただきました。

〈私の質問〉 前回の市長選出馬時に、上田市長に4年間任せた場合、破綻するとの見解であったが、その根拠をお願い致します。

〈水野市長〉 4年前の財政の話ですけど、平成24年度と28年度の決算状況を比べて地方債残高の総額が24年度268億円、28年度が272億円、4億円増加していました。また長期未払金約3億円が増加することなどを分析した結果、貸借対照表上の負債が増加することを懸念し、申し上げたところです。

〈私の質問〉 長期未払金は繰越明許費が主なものだったと認識しています。この科目は一応負債の部ですが先に費用化して、後で各年事業化の予算を落としていくものだと思うので、本来の負債とは異なると思いますがいかがですか。

〈水野市長の答弁〉 そこに関してはそのとおりで長期未払金の計上額の増加は指定管理費であり、外部団体の借入等の債務に対する損失補償などを行っていないという事実が分かりました。工業団地造成事業費も地方債は負債としてあるものの令和元年度には土地売却の指示をしていましたので、固定の負債が減少していることを確認して、この4年間、本市の財政状況を見守ってきました。

### 繰越明許費とは

自治体予算は年度単位に編成されます。工事や事業が年度内（3月末日）まで終わる見込みがないとき、これを繰越明許費として予算計上し、議会の承認を得て、次年度に支払うことができます。年度途中の事情変更によるものが多いため、通常は補正予算で提案することが多いです。これを負債に入れて破綻を煽るということは、政治や行政に携わる身として考えられない事です。

次ページに  
続きます

# 滑川市の財政は破綻するのか？

前頁からの続き

〈私の質問〉 4年間経った現在の財政は良いのか悪いのか。指標または金額の明示をお願いいたします。

〈水野市長の答弁〉 財政健全化を掲げられた上田前市長の取組で、令和2年度決算の実質公債費比率は6.2%、将来負担比率がゼロになったほか、一般会計の地方債残高も99億円と100億円を切り、この4年間において大きく改善されたものと考えています。

このような指標によれば、現在の本市の財政状況は健全であると考えています。

〈私の質問〉 良い状況だということで、しかし4年前には破綻すると申していたことを忘れないでいただきたいというところも正直あります。

令和3年3月31日と平成29年3月31日の貸借対照表の資産、負債、純資産を見てみたところ、一般財源の地方債は差額9億8,400万円の負債の減少です。これは前市長、当局、そして市民が一生懸命頑張ってきた結果だと思います。

次は、一般会計、特別会計、企業会計、一部事務組合、広域連合、第三セクター等を含めた連結会計での地方債は113億1,200万円の増加。94%増と凄く増えています。しかしながら、この間の有形固定資産は242億6,700万円。これも大幅な増加になっています。この固定資産の増えた要因はなんだと思いますか。

〈水野市長の答弁〉 この4年間で連結で増えた理由ですよね。下水道だと思います。

〈私の質問〉 明らかに増えすぎではないですか。この増加した本当の理由は連結会計の区分です。富山地区広域圏事務組合、富山県市町村事務組合、富山県市町村会館管理組合、Net3の4つが4年前は連結会計には組み込まれない状況になっていました。

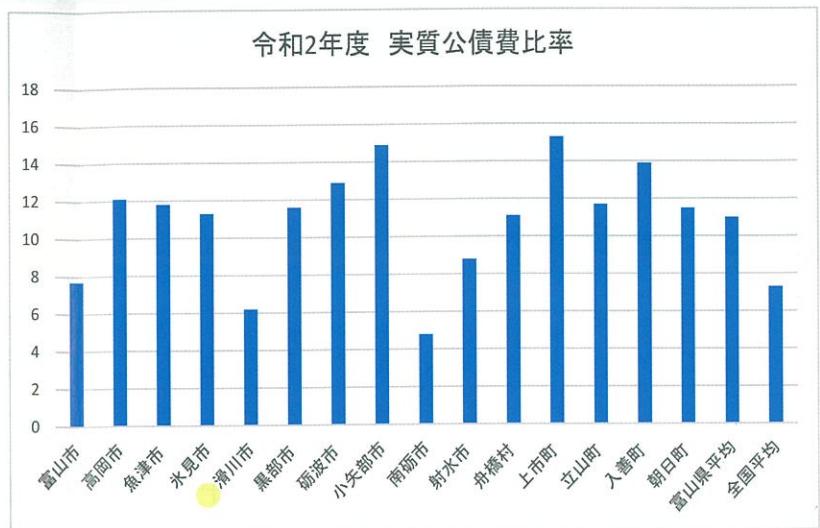
何を言いたいかといふと、市長が安易に財政のことを言っていくのは良くないと思っています。立候補時に「相手候補に任せると財政破綻する」ということを言ってしまうと、市民がかなり誤解されたのではないかと思います。今後財政を話すときは非常に気をつけていただきたいということを言っています。答弁お願いします。

〈水野市長の答弁〉 今後、公の場で発言するときには、注意深くやっていきたいと思います。

私の考え方

上田前市長は財政健全化を公約にし、政治を行っていました。私は議員としてその予算を可決してきました。また水野市長も議員時代にその予算を通してきました。しかしながら4年前の選挙戦の時に、いきなり財政破綻を煽り選挙に立候補したことには私は政治家として、その根拠は一体何だったのか？どんな理論があって負債が増え続けるのか？ずっと気になっていました。

答えは本人の答弁のとおり、水野市長の見解が間違っていたということです。市民の皆様、現在の滑川市の財政は健全です。少し失礼ながら市長はあまり財政が得意ではないようです。財布のひもを堅く、市民の税金が無駄なく執行できるよう議員として引き続き努めてまいります。



地方公共団体の借入金(地方債)の返済額(公債費)の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。全国平均より良い県内市町村は、滑川市と南砺市のみです。

# タラソピアについて



タラソピアを検索しますと紹介ページに以下のようない紹介があります。滑川沖水深333mで採取される海洋深層水を利用した健康増進施設です。海洋深層水をふんだんに使った健康増進目的の深層水プール「ダイナミックゾーン」には、各種ジャグジーや歩行浴が楽しめる12種類のアイテムがあり、泳げない方や運動が苦手な方でも無理なく楽しめます。栄養塩豊富な深層水でこころと身体を潤させてみませんか。

私も何人かの方に、足・腰が治ったと報告を受けています。しかしながら、毎年5,000万円程度の税金が投入されております。これは毎年です。本当に市の施設として良いのか改めて市民の皆さんと考えていきたいと思います。

〈私の質問〉 近年の損益計算書の内訳。また委託事業費の内訳をお願いします。

〈水野市長〉 令和2年度のタラソピアの純売上高5,253万7,000円、このうち受託事業収入(市からの税金)4,636万6,000、料金収入が580万7,000円。支出は販売費及び一般管理費については5,317万5,000円。営業損益は73万円の赤字です。5ヵ年平均では183万円7,000円の赤字になります。

〈私の質問〉 近年、特に新型コロナウイルス感染症の影響もあり利用者が減っているという状況をどのように考えていますか。

〈水野市長〉 やはり新型コロナウイルス感染症の影響があり、入場者数が減って売上の推移がかなり下がっている現状は今認識したところです。

〈私の質問〉 平成10年にタラソピアがオープンして24年が経過した。その間、大規模な機械設備や電気設備の入替は行われていないが見解をお願い致します。

〈水野市長〉 開館から24年が経過しており、故障頻度が増加しているという話も聞こえてきました。部品も生産終了しているという話も新たに、担当者から聞いてきたところであります。これまでの維持管理方法では既存の設備を維持することが困難であるということも理解しています。

〈私の質問〉 コストの中でも比率の高い燃料費について、近年の推移をお願いします。

〈水野市長〉 燃料費については、平成28年度が905万6,000円、平成29年度で1,065万9,000円。平成30年度が1,178万9,000円、令和元年度が1,158万2,000円、令和2年度が862万円、平均すると1,000万円前後で推移しています。令和2年度が少ないのは、新型コロナウイルス感染症の影響による休館のため減少しています。燃料単価の上昇を理由に増加傾向になっているところです。

## 私の考え方

今回の質問で令和2年度においては利用料収入580万円に対して燃料費が862万円ですので、差額マイナス282万円。年間売上が燃料費を賄えないことがわかりました。この燃料の高い理由は海洋深層水を3度から最高42度まで温めているためです。

水野市長は議員時代に私より多くタラソピアの一般質問をしていました。その内容は、廃止に向けてのものでした。今回は議員から市長へと立場が変わり、初めての見解を聞いたところです。次頁ではより一步進んだ議論を展開しています。存続か廃止か業態変更、様々なことが考えられます。今のままでは良くないことは明らかです。

# タラソピアについて

前頁のつづき

答弁のまとめ

タラソピア 令和2年度

|                            | 収入          |  |
|----------------------------|-------------|--|
| 販売費および一般管理費<br>53,175,654円 | 52,537,000円 | この金額が市からの委託事業費です。皆様からの税金です。毎年同程度の予算が必要になります。 |
| 内・燃料費 8,628,000円           | 46,366,000円 |  |
| 差額 92,000円<br>※売上原価or営業外費用 | 5,807,000円  | 利用料収入です。こちらが純粋な売上燃料費もまかんえません。                |
|                            | 赤字 730,000円 |  |

〈私の質問〉 タラソピアについて利用者の意見を伺いながら新年度中に方向性を示すということであったが、これは廃止するということで間違いないですか。

〈水野市長〉 廃止を前提とするものではないと、今の段階ではそういうつもりでいます。続ける場合の課題、廃止の場合の課題の両方があり、続ける場合の課題は売上、経費の圧縮、健康寿命の増進、このあたりの意見等も聞いてみたり、あとは廃止の場合、建物や土地の活用、代替施設、解体費用もかかります。そのあたりも含めて現時点では廃止を前提とする検討はないということで理解をお願いしたいと思います。

〈私の質問〉 市長は「そのときそのときで変わっていいのだ」との話をされていましたのでタラソピアもそだと言いつてしまわれば、私はこれ以上の質問はできないのですが、先ほど言ったとおり、議員時代、私と共に水野市長はこの廃止について、恐らく私よりも言っていたと思います。それが今回の提案理由説明を見まして、私は正直がっかりしました。いろいろな民意があって市長選に出られたから、それは理解できます。ただし、政治姿勢は変えないでいただきたいと思っています。このタラソピアは根本的に戦術的な努力をしても難しいと思いますが、どうですか。

〈水野市長〉 そのあたりも含めて、今日も利用者の方がたくさん来ておられますけど、利用者の方々と意見交換をしながら新年度中に結論を出したい。その考えは今も変わっていません。

〈私の質問〉 タラソピアの委託事業費は10年で5億円を超えてます。当然ながら、廃止しなければランニングコストは変わらないだろうと思います。もし業態変更をしようと決断したときには、海洋深層水の利活用も同時に新たに考えていかなければいけないと思います。私も初の土曜議会ときには、釣り堀にしてお魚が食べられるような直売所を作って、あの場所を漁業関係者が潤うような施策になればと提案したと思います。タラソピアは観光施設だということを、市長も再三言わされていました。もう一度答弁をお願いします。

〈水野市長〉 本当に議員時代、私もこのタラソピアの質問は何回したのかわからいぐらいしています。今、青山議員が言われたように、もともとは観光施設、今も観光施設条例の中に位置づけてあるのがタラソピアです。そこも含めて、利用者の方々と意見交換をしながら、今後の方向性について新年度中に結論を出せるように努力したいと思います。

私の考え方

今後の人口統計を鑑みると、いずれ国からの地方交付税が減額になるかもしれません。またその前に滑川市自体の個人市民税、法人市民税が下がるかもしれません。次世代を考えた時、タラソピアは贅沢な代物になると想っています。もし存続するのであれば足や腰になぜ効くのか、科学的なエビデンスで証明しなければと考えます。

後日、予算特別委員会で市民交流プラザに移動できないかと提案しました。すでにあるあらぶ湯の設備で海水を温めることもできます。燃料費も削減できます。お客様は「今日は軽運動室、明日はタラソピア」と健康を維持することもできます。終わった後は、風呂に入って汗を流すことで交流プラザの楽しみが増えると思い提案しました。水野市長は「貴重な意見をありがとうございます」との答弁でした。今後も滑川市の未来に向けて真剣に考え行動していきます。

# 会派って何？志真会とは？

ここで本編からは少し外れて、市議会議員の会派の話を少し触れたいと思います。会派とは、同じような考え方をもった議員のグループのことです。多数決を原則とする市議会の中において、自らの政策の実現や発言権の確保などの目的で結成されます。

私はこれまで2期8年間、会派に所属しない無会派議員として活動してきました。11月の改選を期に同年代の市議会議員が増え、協議を重ねた結果、3月28日に滑川市議会議員で40歳から51歳までの県内でも1番若い最大会派を新たに結成しました。会派名は志真会（ししんかい）、メンバーは竹原正人、青山幸生、大浦豊貴、谷崎潤一、安達真隆、吉森真人です。

目的は①40、50代の同じ世代で集まり、市全体を見て当局をチェックすること  
②若い世代で政策を考え、人口減少時代に立ち向かうこと  
③アイデアを出して滑川市を豊にすること  
この3つを基本コンセプトに活動してまいります。どうぞ宜しくお願ひ致します。  
ここでメンバー紹介をしたいと思います。

竹原正人 議員(3期)



## 会派会長

体育協会など各団体役員を経て多くの構造的な課題を市議会で提言しています。得意分野は資産税です。

大浦豊貴 議員(2期)



青年会議所の理事長等の役員を歴任。費用対効果を考え提言しています。得意分野は公共施設の管理運営です。

吉森真人 議員(1期)



滑川市小中学校PTA連合会長等を歴任。子育て世代の意見を多く発言しています。得意分野は会計です。

谷崎潤一 議員(1期)



田中小学校PTA会長などを歴任。地域の小さな課題もしっかり向き合います。得意分野は文化芸能です。

安達真隆 議員(1期)



経済団体などの役員を歴任。会社経営者、様々な顔を持つ経験豊富な議員です。得意分野は公共交通です。

青山幸生 議員(3期)



## 経理責任者

西部小学校PTA会長などを歴任。常に議案にアイデアでプラス1になるよう努めています。得意分野は事業計画です。

# 夢の教室を充実していくには

滑川市では夢(目標)を持つことの素晴らしさを小・中学校の段階で理解し、人生をより充実したものになるよう平成25年度から市内小学5年生を対象に行っています。平成28年度からは中学2年生を対象に加えて、学年全クラスを対象に、オリンピアンやトップアスリートが「先生」となり、子ども達と一緒に身体を実際に動かしたり、自身の経験を踏まえながら語ることを通して、夢を持つことの大切さを授業で教えています。

〈私の質問〉 夢の教室開催費214万円について、昨年度の予算差額28万円の詳細は何でしょうか。

〈上田教育委員会事務局長の答弁〉 差額について一つ目はクラス数の減少によるものです。二つ目は開催にあたりまして、日本サッカー協会の担当スタッフと学校の打ち合わせを直接学校にお越しいただいて実施していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響でオンライン対応しました。それらの移動費や講師謝礼分の費用が減少したものです。

〈私の質問〉 今後、滑川市の子ども達のスポーツの能力向上、スポーツを通して子ども達のメンタルを強化するためにどのように考えていますか。

〈上田教育委員会事務局長の答弁〉 生涯にわたって健康を維持し、何事にも積極的に取り組む意欲を育むことなど、スポーツは豊かな人生を送るための大切な基盤づくりになります。できるだけ多くの子どもたちがトップアスリートと関わることができるように機会を創出し、スポーツを長く楽しみ、心と体をたくしく育てることができるよう、努めていきたいと考えます。

私の質問〉 山形県朝日町はスポーツメーカーとのパートナーシップを組んで、町全体をフィットネスクラブのようにプログラムをつくっています。パートナーシップどうですか。

〈水野市長の答弁〉 貴重なご意見ありがとうございます。前向きに検討したいと思います。子ども達には夢を持ってもらって、それが叶うまでチャレンジしていただきたい、そういう思いを強くもっています。

(編集後記)

日頃より皆様方からの厚いご支援ありがとうございます。

円安と円高、どちらが景気が良くなるのですか? そういった話を良く聞きます。2021年1月の1ドル=105円前後から今年に入り1ドル=130円まで円安になりました。連日、新聞などの各報道では、「家計に圧迫」という見出しが見受けられます。小麦やガソリン価格が上昇して消費者の財布にも直接影響がで出始めています。輸出企業は世界での価格競争力を保てるため、これから業績が良くなり利益が多く出る企業が考えられます。そのような企業がしっかりと給料を上げることで、円安の恩恵を個人に回していただきたいです。

日本はプラザ合意後はたった3年間で現在の水準まで円高になり、後に不景気になりました。世界、日本、富山県、滑川市と俯瞰的に考え、市としてできることについて貢献できればと思います。

今後もご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ致します。



滑川市議会議員 青山幸生



志真会

3月定例会一般質問、ご覧ください。